

「瞬時に情報・便利さ体験」

盛岡百合学園 インターネット公開授業

通産省と文部省による「インターネット百校プロジェクト」に参加している盛岡百合学園高校（水原洋子校長）で二十一日、インターネットを使った公開授業が行われた。

百校プロジェクトは、世界的なコンピュータネットワークのインターネットを教育の場でも利用していくか、全国の小中高校の参加を得て試みている事業。県内では同校と一関市立桜町中が参加している。

公開授業には県内各地の教師約七十人が参加、教育現場での関心の高さをうかがわれた。

公開されたのは高校三年



白百合学園で行われたインターネット公開授業

生の「コンピュータ」の授業。生徒一人に一台用意されたパソコンを使い、ワールド・ワイド・ウェブ（WWW）という世界中の教育・研究機関、行政機関などが情報発信の窓口としてホームページを開設しているインターネットのサービスを検索。瞬時にして世界各地の情報を得られるインターネットの便利さを体験した。

同校では、担当教諭らが二十四台のパソコンを同時にインターネットに接続できるようなネットワークを構築した。製作費用や今後の授業利用の方法など、参加者から多くの質問が出された。